

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 10月 25日

【評価実施概要】

事業所番号	0170501589		
法人名	有限会社シャイニング		
事業所名	グループホームトトロの森		
所在地	札幌市清田区美しが丘4条7丁目7-12 (電話)011-886-1044		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年10月2日	評価確定日	平成19年10月25日

【情報提供票より】(19年9月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・(平成)14年6月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	15 人
職員数	15 人	常勤 12人, 非常勤 3人, 常勤換算	12.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000~60,000 円	その他の経費(月額)	18,000~23,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(9月15日現在)

利用者人数	15 名	男性 4 名	女性 11 名
要介護1	0	要介護2	3
要介護3	10	要介護4	1
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 86.2 歳	最低 69 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人尚仁会真栄病院・医療法人社団賢友会さくら歯科クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は開設して6年目を迎え、基盤が固まりつつある。住宅街の一角に立地し、周辺には公園があり事業所内の窓からは木々が眺められ、季節の変化を身近に感じられる恵まれた環境に位置している。「利用者が尊厳を持って、自分らしく暮らせるために」という基本理念を基に、全職員が一体となって利用者の意思を大切にケアサービスを実践している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価における課題であった重要事項説明書・契約書の明示方法や地域への広報誌発行について、職員間で話し合い改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義・目的を理解しており、全職員で自己評価に取り組んでいる。また、会議においても自己評価について話し合い、職員間での共有を図っている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議はこれまでに2回開催されており、事業所の運営状況・利用者の状態・地域との関わり・事故の状況等について報告している。また、活発な意見交換を行い、事業所の運営に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>玄関ホールに意見箱を設置したり、3ヶ月に1度家族に返信用の意見書を送付するなど、家族が意見・要望等を伝えやすいよう工夫している。また、家族から意見・要望を受けた際はミーティングにて話し合い、日々のケアサービスに反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入しており、清掃活動や行事に参加している。また、近隣小学校の児童と接する機会も多くあり、積極的に地域との交流が図られている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域での安心した暮らしや地域との積極的な交流について盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	共有空間に理念が掲げられ、また、研修時・ミーティング時に話し合っており、職員間で理念を共有し実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して清掃活動や祭り・子ども会などの行事に参加しており、積極的に地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義・目的を理解しており、全職員で自己評価に取り組み、サービスの質の向上に努めている。また、課題について会議で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では利用者の状況・地域との関わり・事故等について報告し、活発な意見交換を行い、事業所の運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と連絡を取りながら各種研修の講師・実習生の受け入れや開催を行っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>事業所便りを発行しており、利用者の暮らしぶりや健康状態等について報告している。また、家族来訪時には職員は積極的に声かけをし、利用者の事業所での様子を詳しく伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置したり3ヶ月に1度家族に意見を聞くための意見書を送付するなど、家族が意見・要望等を伝えやすいよう工夫している。また、来訪時にも家族が話しやすいような雰囲気づくりに努め、家族からの意見・要望等はミーティングにおいて話し合い、日々のケアサービスに活かしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が代わる場合は引継ぎ期間を十分に設け、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は年間計画を立て、経験に応じた研修に参加する機会を設けており職員は積極的に参加している。また、段階に応じた内部研修も実施しており、研修後は会議において報告を行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との勉強会や研修会に参加するなど積極的にネットワークづくりに取り組んでおり、ともにサービスの質の向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族に見学してもらい、他利用者や職員と一緒に行事に参加したり昼食を摂るなど、徐々に事業所の雰囲気に馴染めるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀れを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の準備・後片付け・洗濯物たたみなど、職員は利用者から教えてもらいながら一緒に行っており、支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者との会話や表情から一人ひとりの思いや希望の把握に努めている。また、困難な場合は家族から情報を収集し、本人本位となるよう検討している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンスで話し合い、本人・家族の意見・要望を採り入れた介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画期間内に見直しを行っているとともに、利用者の身体状態に変化があった場合や家族の要望に応じてそのつど話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院への付き添いや外出・外泊の送迎など、柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者・家族が希望する医療機関への受診支援を行っており、受診の際は職員が付き添い結果を家族に報告している。また、主治医・看護師・薬剤師とも連携が取れており、いつでも相談できるような体制が築かれている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化・終末期について入居時に家族から意見・希望を聞き主治医も交えて話し合い、情報を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の気持ちを考慮し、言葉かけや敬意のある対応を心掛けている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は一人ひとりの体調を考慮し、利用者の希望を尊重した生活となるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量に応じ、食事の準備や後片付けなどを職員とともにやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯やタイミングなど、利用者の希望に合わせた入浴支援を行っている。また、銭湯に出掛ける機会も設けるなど、楽しんで入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や身体状態に合わせて散歩・書道・鉢植の水やりなど、一人ひとりの得意なことや力量に合わせた楽しみごとや気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調を考慮しながら散歩や買い物など、日常的に戸外に出掛けられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の理由から夜間帯は施錠しているが、全職員が鍵をかけないケアの大切さを理解しており、日中は鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1回、昼・夜を想定した避難訓練を実施している。また、消防署との間に通報システムが整えられ、町内会との協力体制も築かれている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者の食事・水分摂取量を把握しており、一人ひとりの状態に合わせた食事の提供を支援している。また、栄養士に献立を確認してもらっておりバランスの摂れた内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間の窓からは中庭が望め、ベンチ・テーブル・植木鉢や洗濯物が干されている様子が眺められ、生活感や季節感が感じられるよう配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具等が持ち込まれ、壁には写真などが貼られており本人が居心地良く過ごせるような空間となっている。		

 は、重点項目。